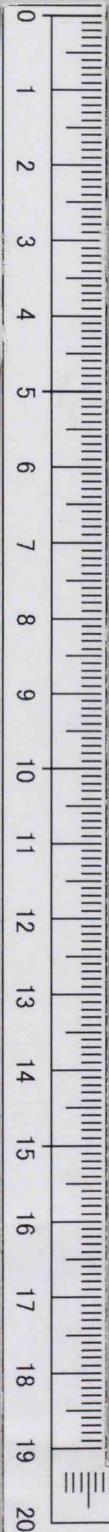
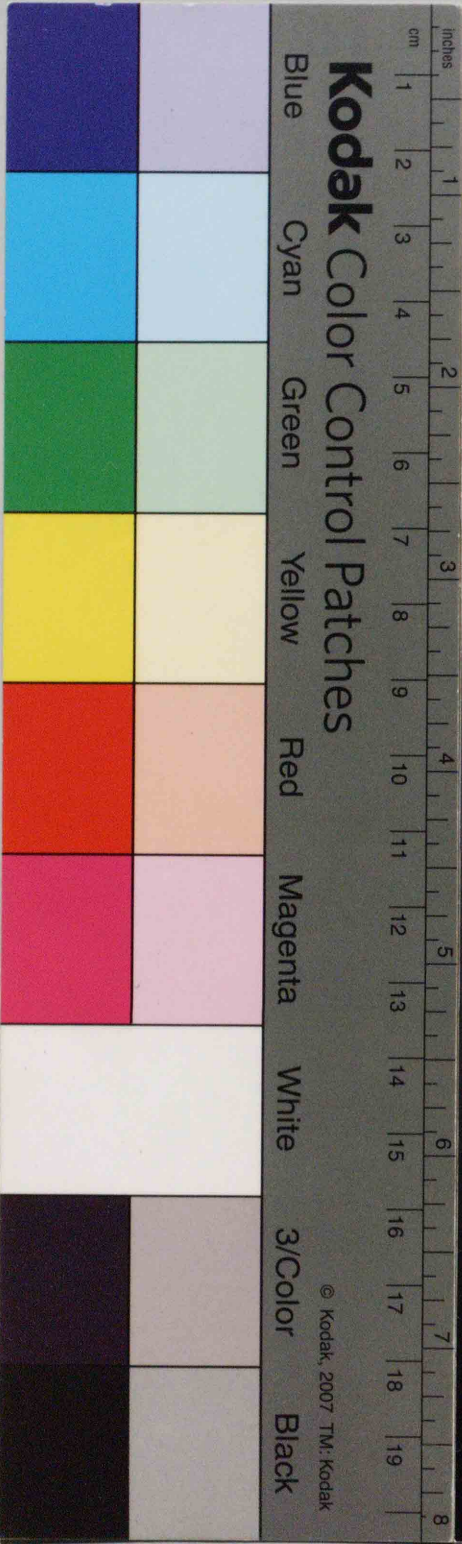


40636

教科書文庫

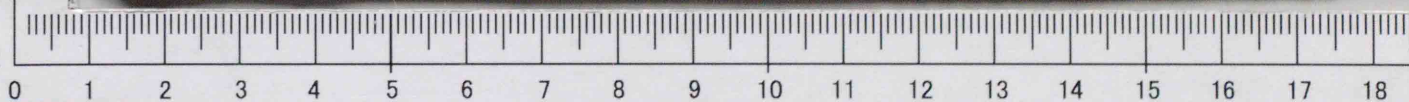
4
710
31-1929
200030 2173



教科書文庫  
4  
710  
31-1929  
2000302173



広島大学図書  
2000302173



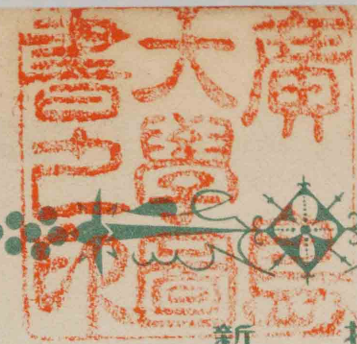
375.9  
Sho20

資料室

新撰小學圖畫目次  
高等二年

1 單色の風景	先生の作品
2 静物	生徒の作品
3 春雨	葛谷龍岬作
4 ゆかた地の圖案	齋藤佳三作
5 月の夜	先生の作品
6 雨後の内海	満谷國四郎作
7 遠山	生徒の作品
8 入道雲	先生の作品
9 海へ山へ	先生の作品
10 池畔紅葉	佐藤平太郎作
11 静物	先生の作品
12 郊外	栗原忠二作
13 白菜とトマト	先生の作品
14 晩秋	先生の作品
15 書籍の装幀	齋藤佳三作
16 新年の店頭裝飾	先生の作品
17 住宅の設計	先生の作品
18 小学生	石井柏亭作
19 少女	ルノアール作
20 風景	ブラマンク作

教科書文庫  
4  
710  
31-1929  
2000302173



新撰  
小學圖畫

緒言

本書は文部省令に準據し、且つ現代圖畫教育の要求を充分に省察して編んだもので、兒童の藝術的芽生を育成し、廣くは文化生活の基調たる美意識の涵養、及び情操陶冶の一助たらんことを期した。

其の内容は、新時代の教育學說を經とし、實際教育家の體驗を緯として成り、悉く兒童に依つて消化さるるは勿論、すべて其の血となり肉となるべきもののみである。而も編纂に當つては、初等教育の程度を考慮するの餘り藝術の高所を見失ふことなきやう多大の苦心を重ねた。

多面的なる圖畫教育の一面に遍することなく、正確なる觀察による描寫能力の増進、創造考案力の養成、鑑賞能力の開発等、各方面に渉る材料を採擇按配して、兒童の藝術的發育を全的に指導し得るやうに工風した。

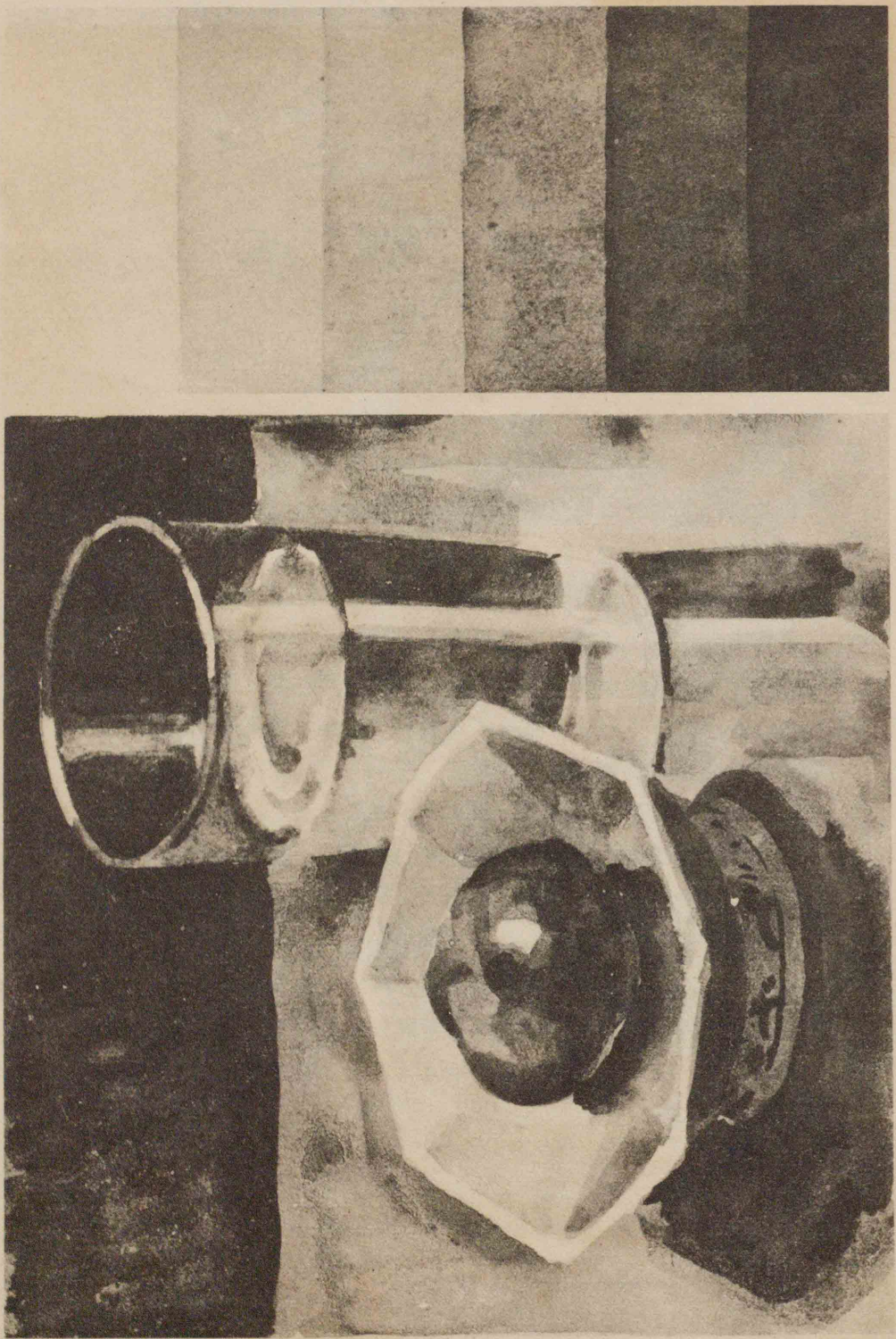
幸にして、本書が我が一千万第二國民の美的教養を高め、進んでは世界文化の中に赫々たる光輝をはなつた我國美術工藝發展の上に一層健全なる基礎を確立する爲に役立つは本懐の至である。

昭和三年十一月

初等圖畫研究會長 岡田三郎助



広島大学図書  
2000302173  

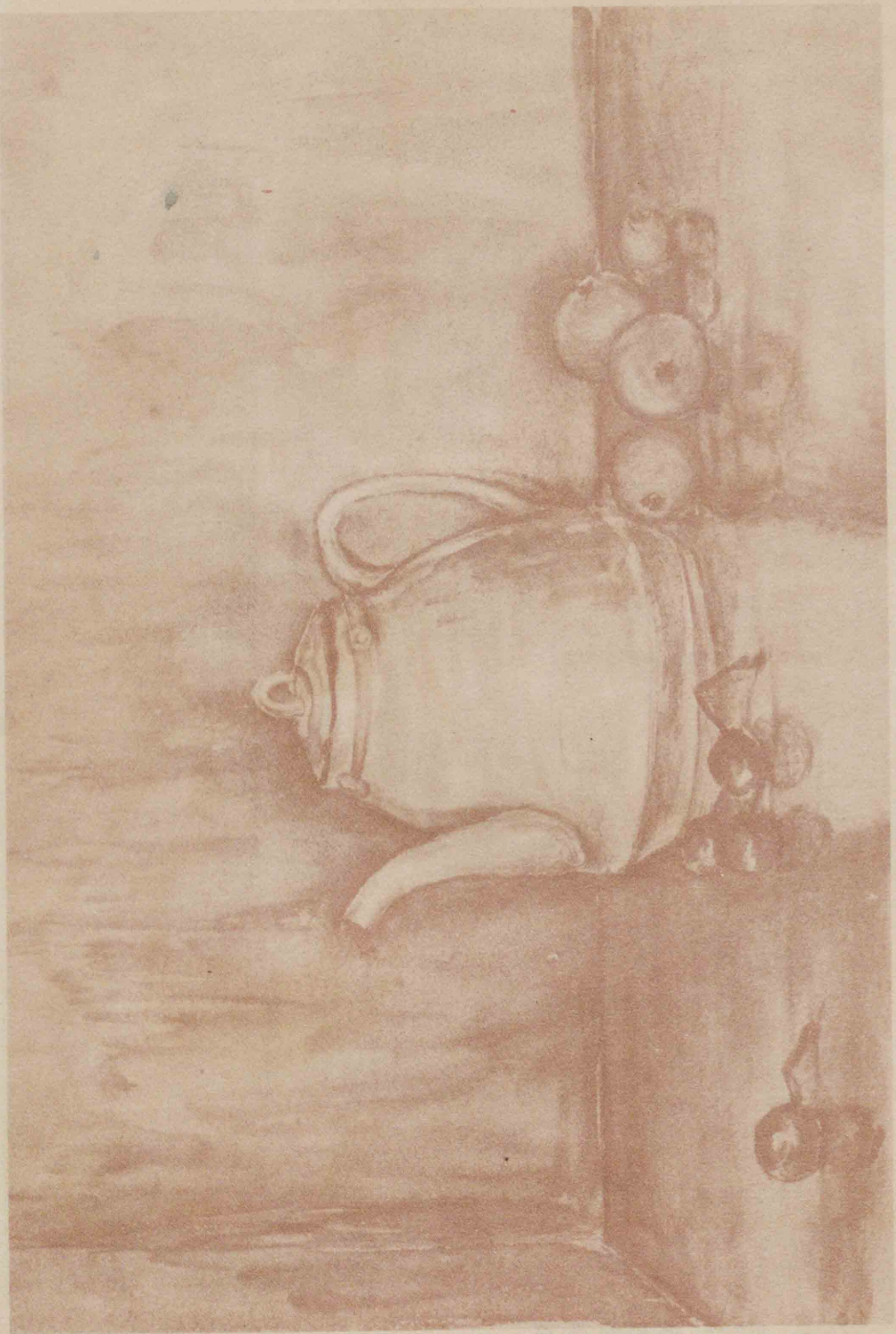



大島印  
大島印



墨探圖 2-1 單色の風景

先生の作品



静物 212 圖解

生徒の作品

春 雨

葛 谷 龍 岬

けふると見せて春雨は霞の絹に銀線を織り込んであります。

度々訪れるめぐみの雨に萌え出た若草にはよろこびの心をあらはし、ほころび初めた桜花と共に氣品に富んだ美しさを感じさせます。

雨を縫つて湖面を迂る小舟は落付いた全景に少しの動きを興へて畫面に一しほの趣を加へてあります。

同じ景色を寫しても、日本畫と西洋畫とでは各々ちがつた面白さがうかゞはれます。日本畫の特長は主として運筆の妙味をもつて、唄を聞くやうな感じを起させるところにあるかと思はれます。

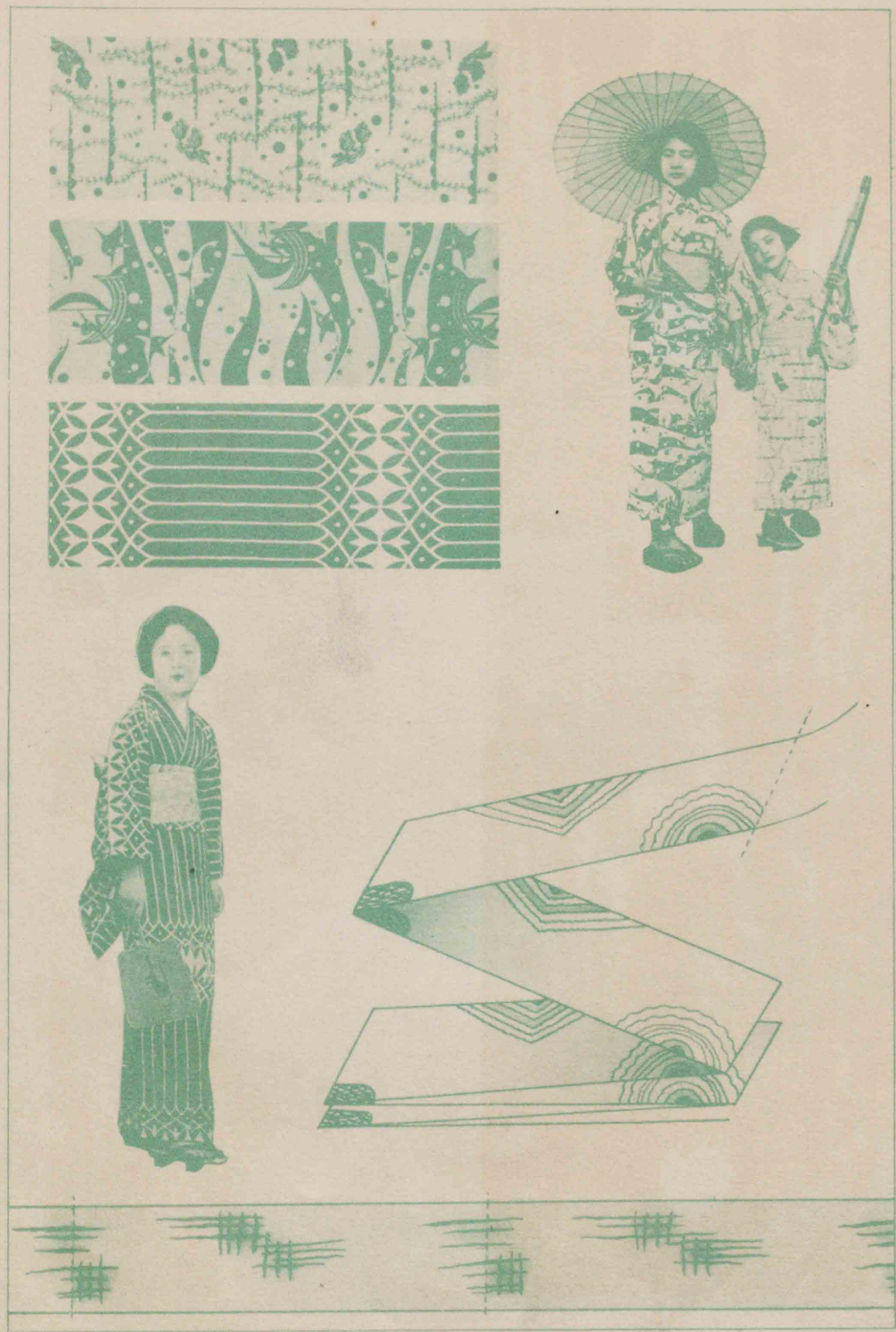
この繪を眺めた皆さんが、あの「のどかに注ぐ春の雨」——といふ唱歌を思ひ出し、又は口の中で唄ひながら味はつたなら、春雨に對する感じは一層深く心にひびくことせう。

龍岬先生は、大和繪の大家として東都畫壇に名聲を擧げられてをります。この繪は、先生が特に皆さんのために心をこめておかしくださつたものであります。



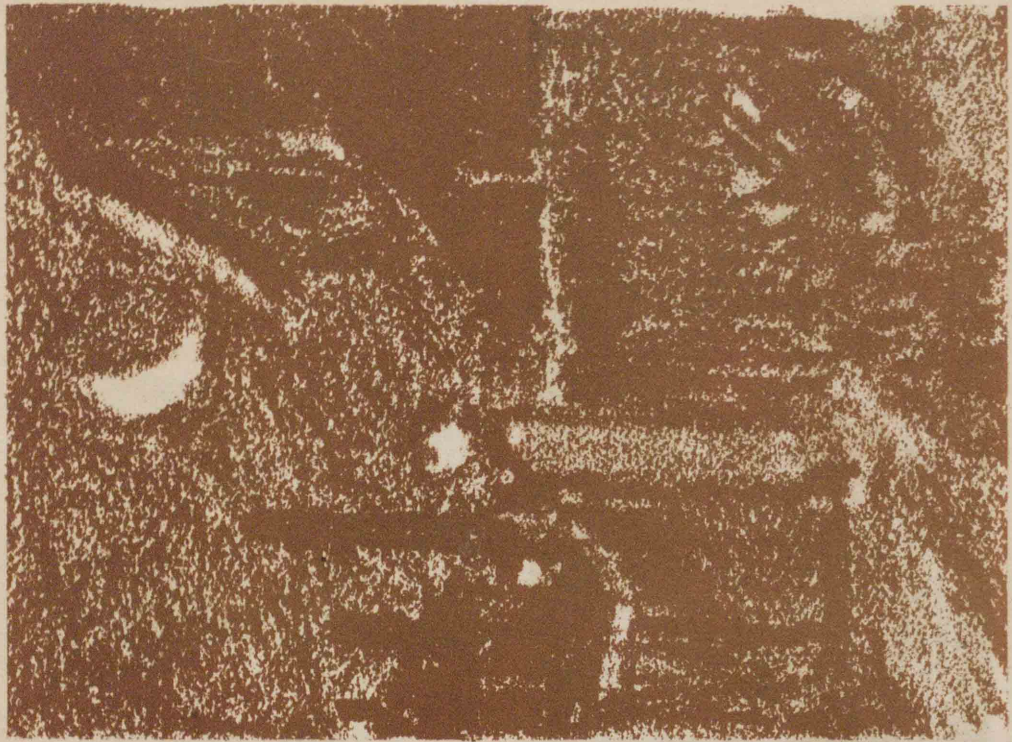
龍岬畫 2—3 春 雨

葛 谷 龍 岬 作



〔新撰高〕 2-4 ゆかた地の圖案

齋藤佳三作



深草園 2-5月の夜

先生の作品

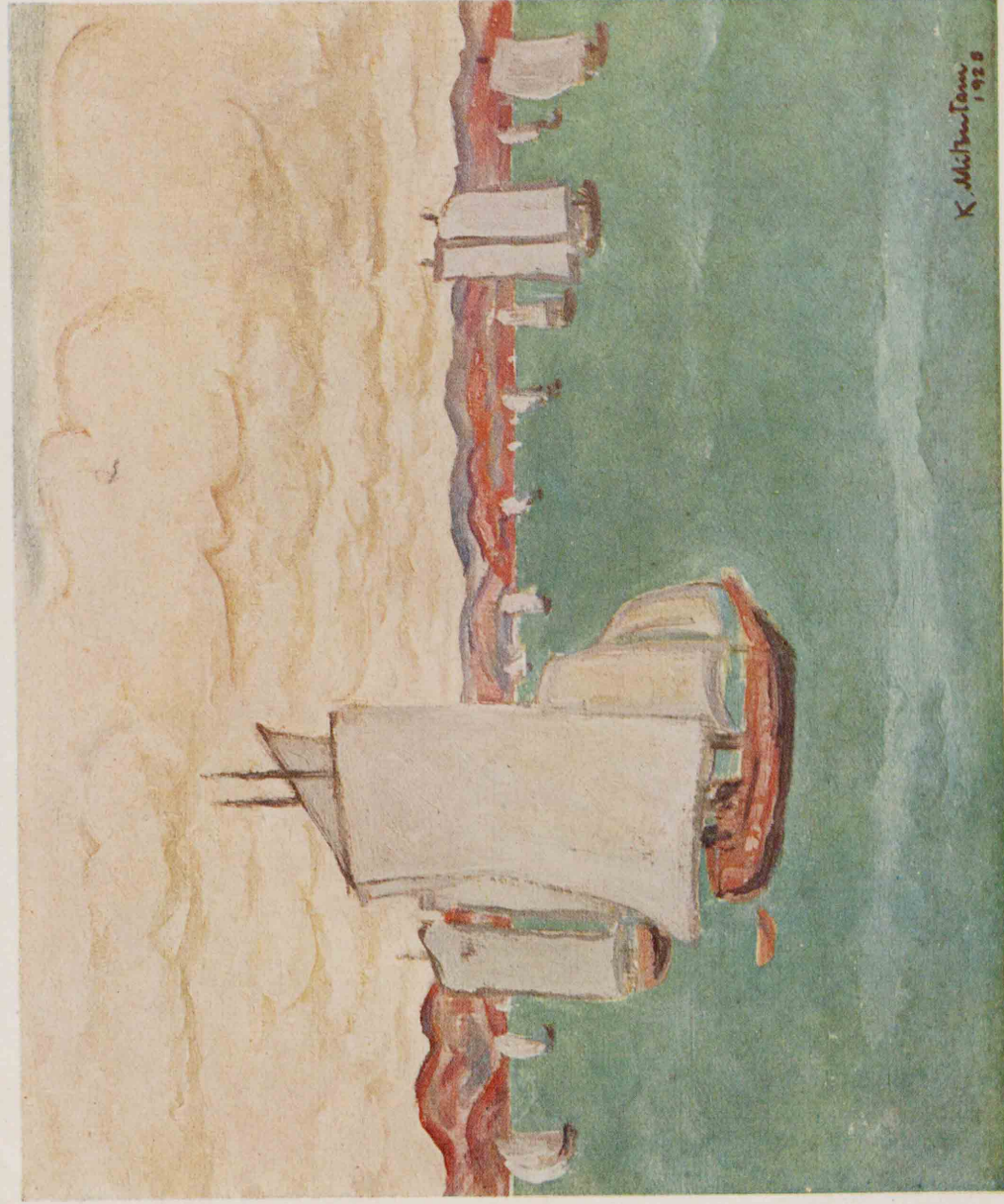
雨後の内海

満谷國四郎

綿<sup>わた</sup>のやうな雲を破つて金光<sup>きんくわう</sup>さつと輝<sup>か</sup>かうとする前の、しばしの  
静けさか。雨に洗はれた自然<sup>しぜん</sup>の姿<sup>すがた</sup>落<sup>おち</sup>つてはゐるものゝ内<sup>うち</sup>に  
はあふれるよろこびを見せてこの景色は動かうとしてゐます。  
あのねちくした油<sup>あぶら</sup>繪<sup>え</sup>具<sup>ぐ</sup>からどらしてこのやうなすつきりした  
繪が生れるのでせう。

この帆<sup>か</sup>をどらんない。あの山<sup>やま</sup>をどらんない。筆<sup>ふで</sup>の跡<sup>あと</sup>はいと  
輕<sup>かろ</sup>げにすらくゆらくと動いてすこしのわだかまりもありません。  
筆<sup>ふで</sup>使<sup>つか</sup>の妙<sup>たぎ</sup>とあつさりした色調<sup>しきてう</sup>とは、海<sup>うみ</sup>の幸<sup>さい</sup>に酔<sup>よ</sup>ふ漁<sup>り</sup>夫<sup>と</sup>の  
飾<sup>かざり</sup>氣<sup>き</sup>ない氣持<sup>きもち</sup>と内海<sup>うちうみ</sup>ののびやかな空氣をあらはすにふさはしく、  
見るからに心を洗<sup>き</sup>ひ淨<sup>きよ</sup>められるやうな繪です。

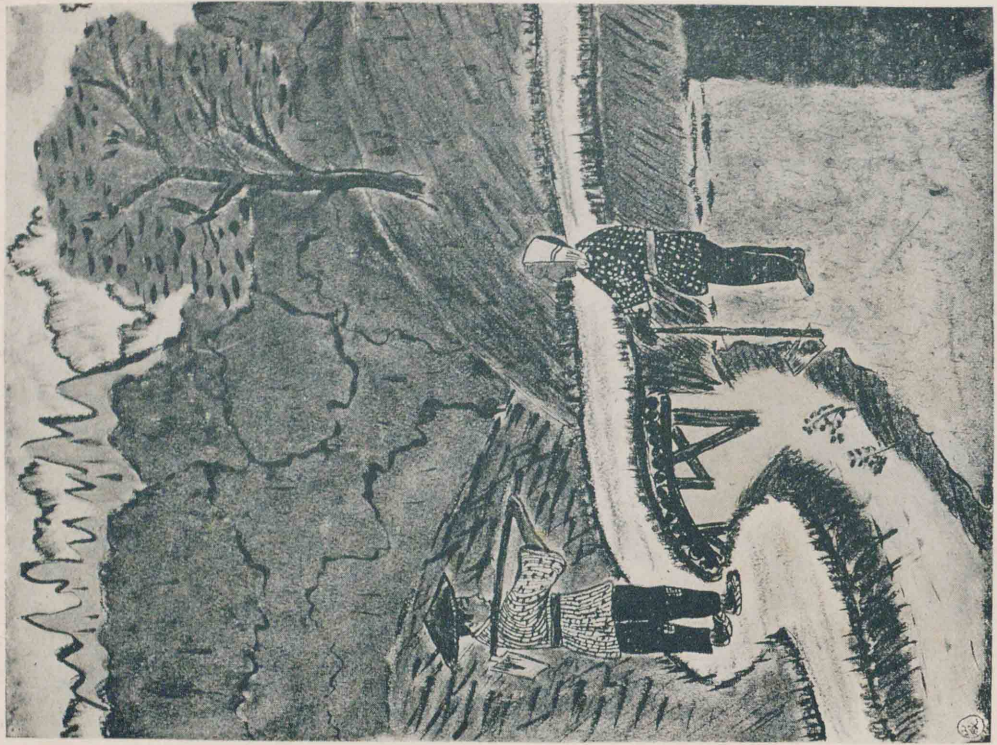
この油<sup>あぶら</sup>繪<sup>え</sup>は、帝國美術院會員で高名<sup>たかめい</sup>な洋畫<sup>やうが</sup>家<sup>か</sup>満谷<sup>みつたに</sup>先生<sup>せんせい</sup>が、最近<sup>さいきん</sup>  
展覽會<sup>てんげんかい</sup>で御發表<sup>ごはつぱう</sup>になつた作品<sup>さくひん</sup>であります。



圖畫 216 雨後の内海

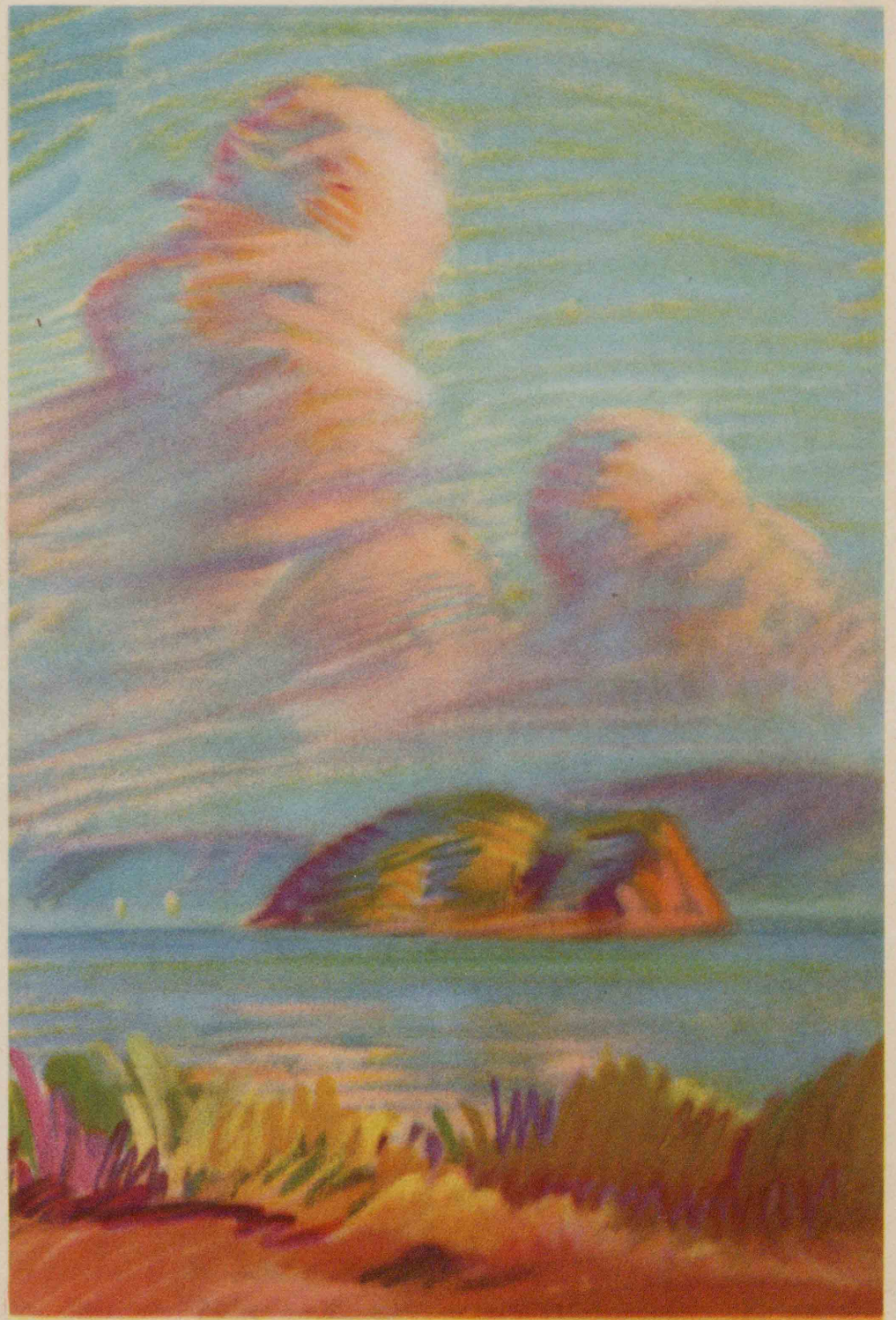
満谷國四郎作





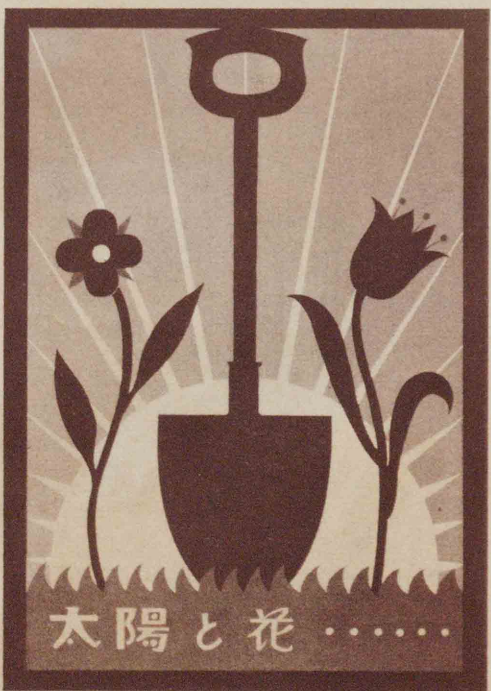
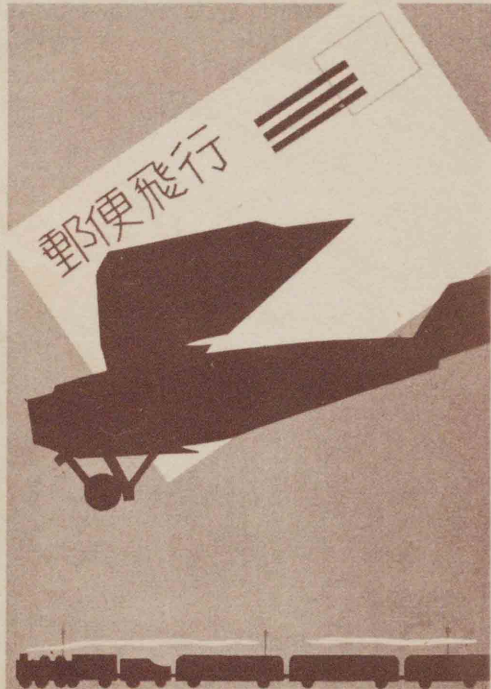
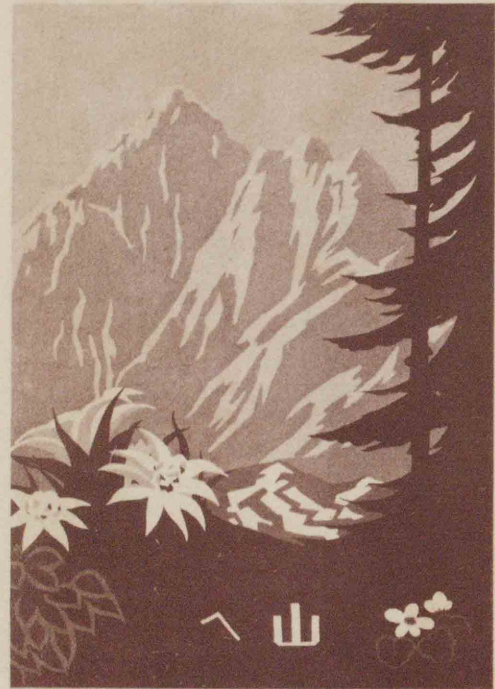
山 遠 217 高 探 察

生徒の作品



雲道入 2-8 圖撰

先生の作品



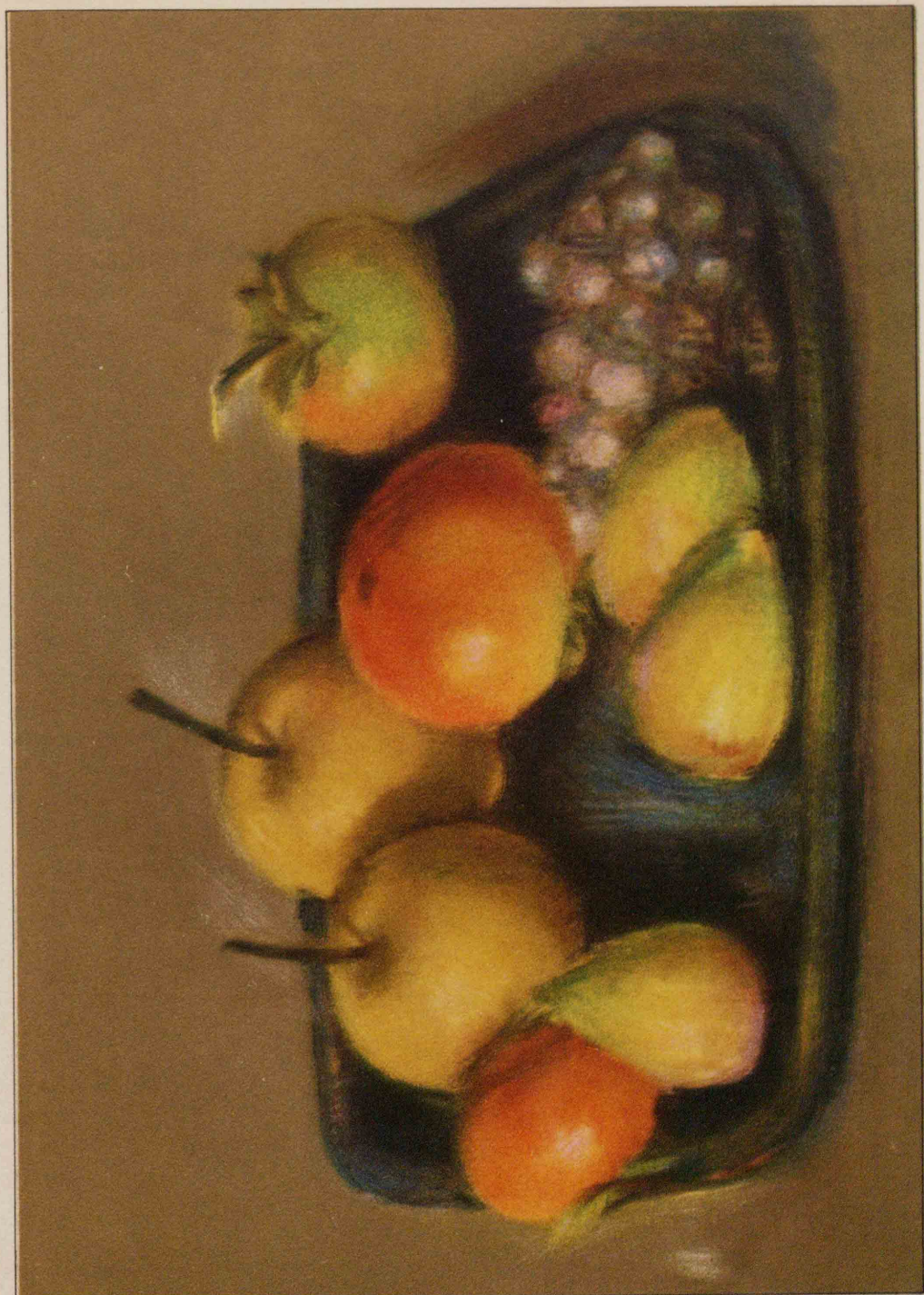
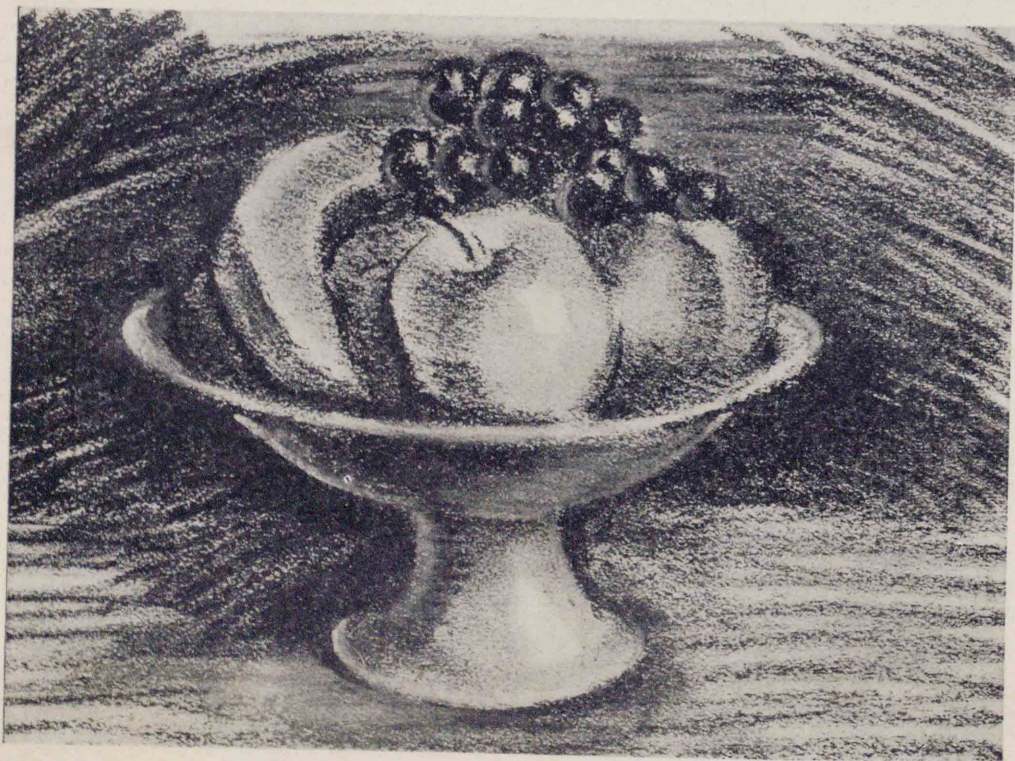
図鑑 2-9 山へ海へ

先生の作品



〔紙張〕 2—10 池畔紅葉

佐藤平太郎作



静物 二一 高橋 景

先生の作品

郊 外

栗 原 忠 二

この風景はロンドン市の郊外を描いたものです。

市の中央を西へ流れるテムス河の流域に多くの緑野が開けて  
ゐます。

郊外の秋は今その序幕を開いたかと思はれる時、空の色と雲の  
影と共に映して静かに流れる川の面の、澄んだ水に溶けこむ葉  
の色のさつとにじむあたりに浮ぶ小舟、ほのかにこむる秋の心  
に棹さし動かうとしてゐます。

河岸に翹ぶ少女の姿も、この広い畫面の眼となつて繪をひさし  
めしほの趣を添へてゐるやうです。

前景と遠景と、又添景人物と、自然の姿を見事にさりとなつたそ  
の構圖の妙味も私達の學ぶところでせう。

栗原先生は、永い間英國に居られて繪の研究にふけられた方で、  
たゆみない努力による名作は、このやうな水彩にも油繪にも多  
く、何れも人々の眼と心をひきつけてゐます。



栗原忠二 2-12 郊 外

栗原忠二作

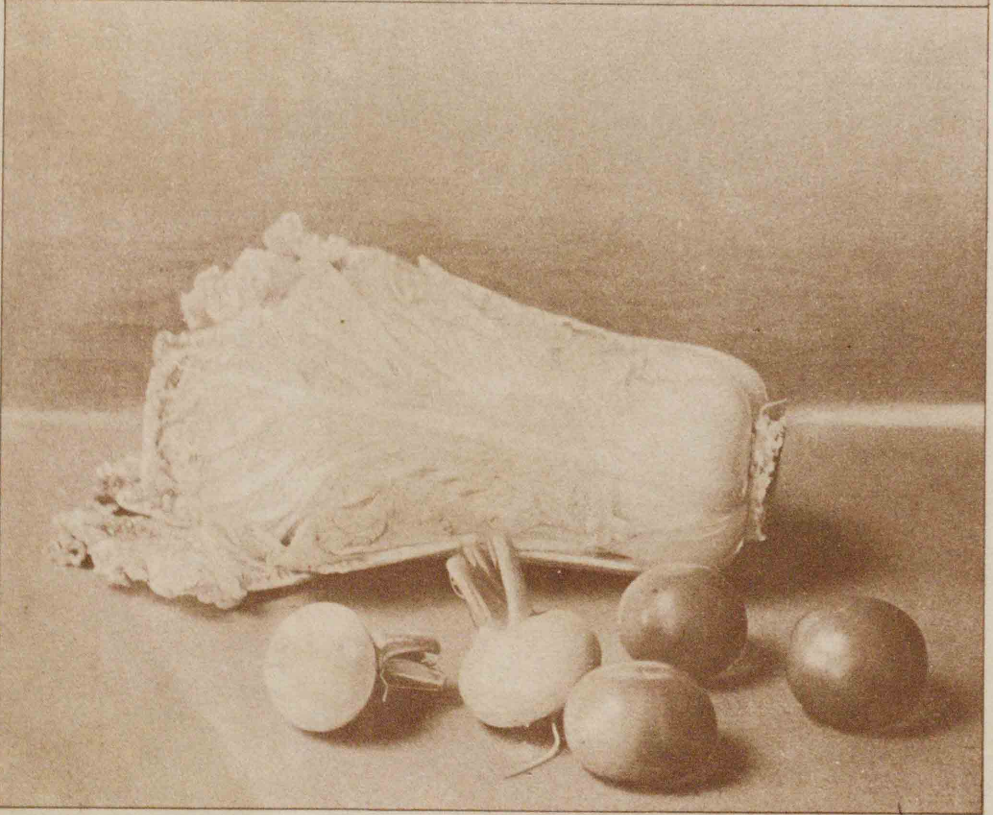
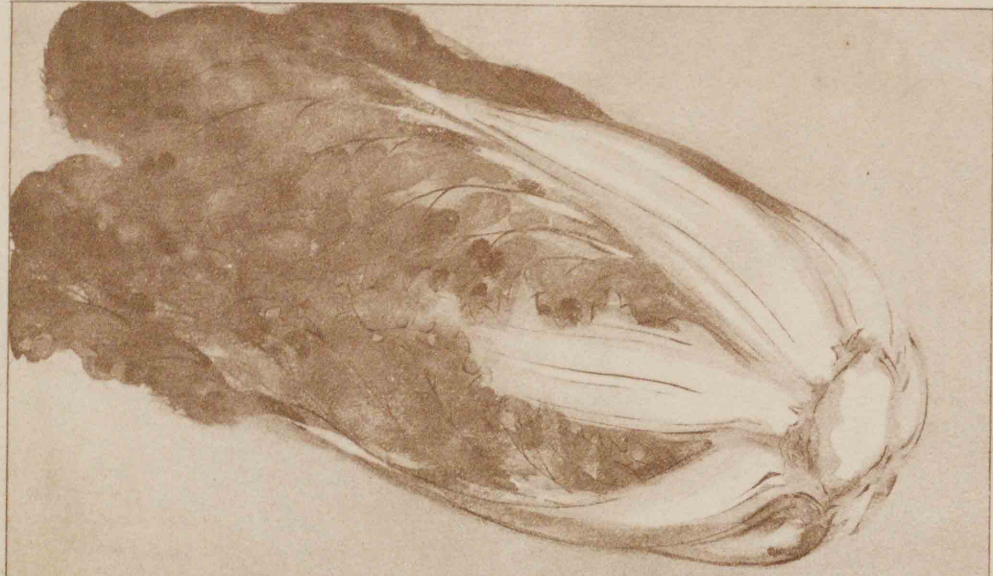


圖 2-13 白菜とトマト

先生の作品

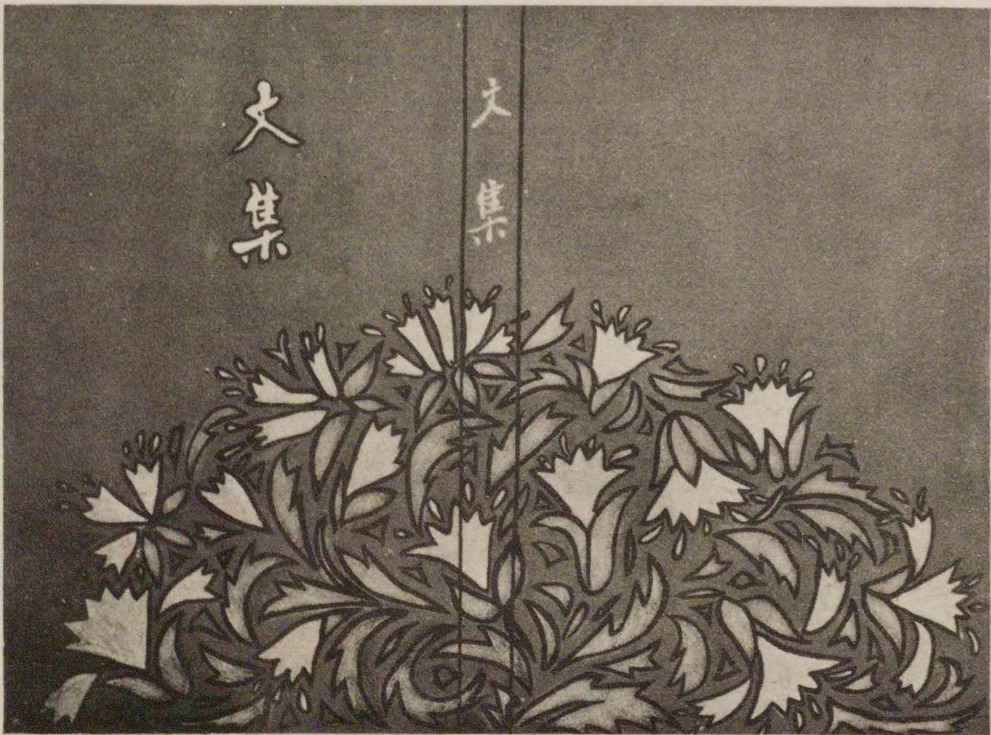


秋 晩 2-14 高橋 翠

先生の作品

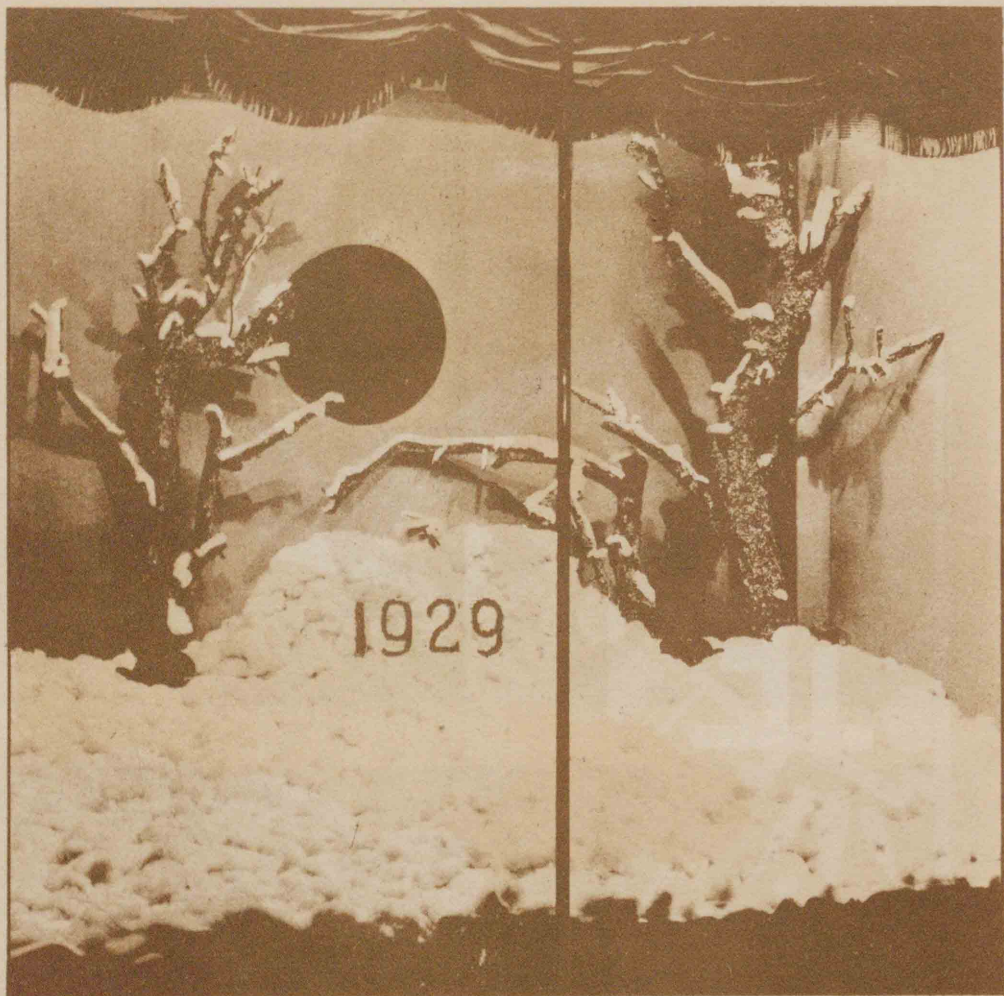


ALBUM 圖 樂 詩  
 RINGNOTE 帖 譜 集  
 12345678 圖 圖 圖  
 ア イ ウ エ オ  
 い ろ は に ほ 案 案 案



〔紙撰〕 2-15 書籍の装幀

齋藤佳三作

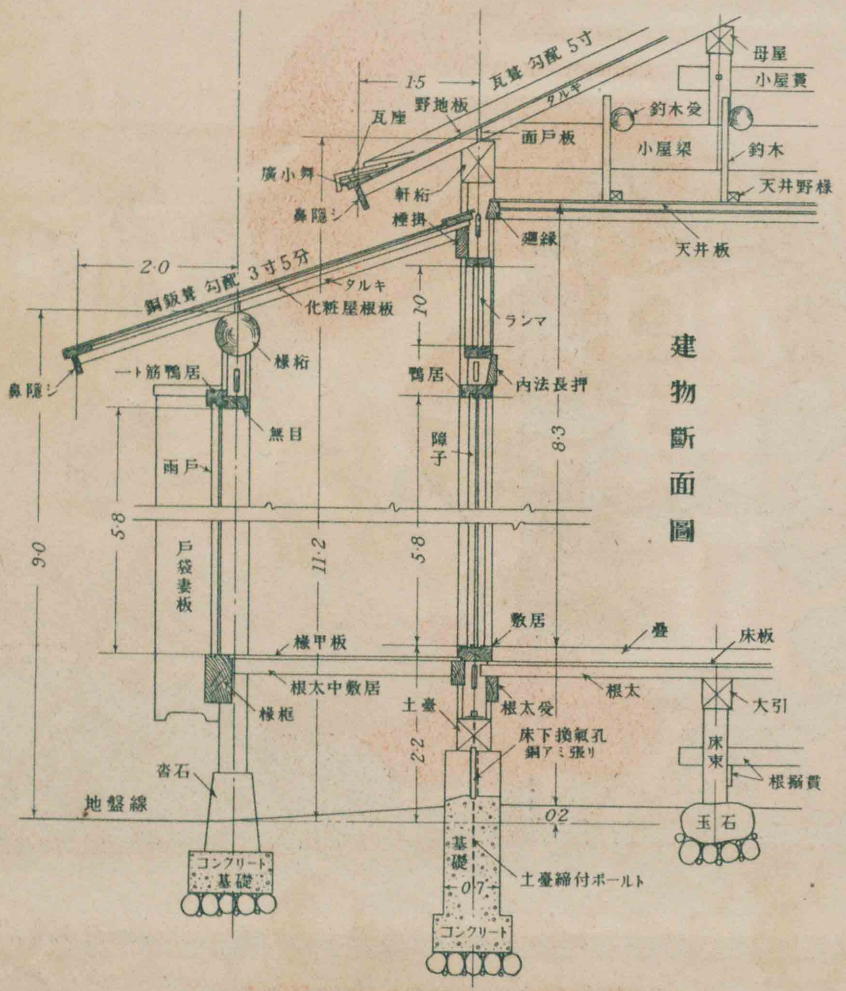


鳥瞰圖(配置圖)



〔新撰圖〕 2-16 新年の店頭裝飾

先生の作品



建物断面圖

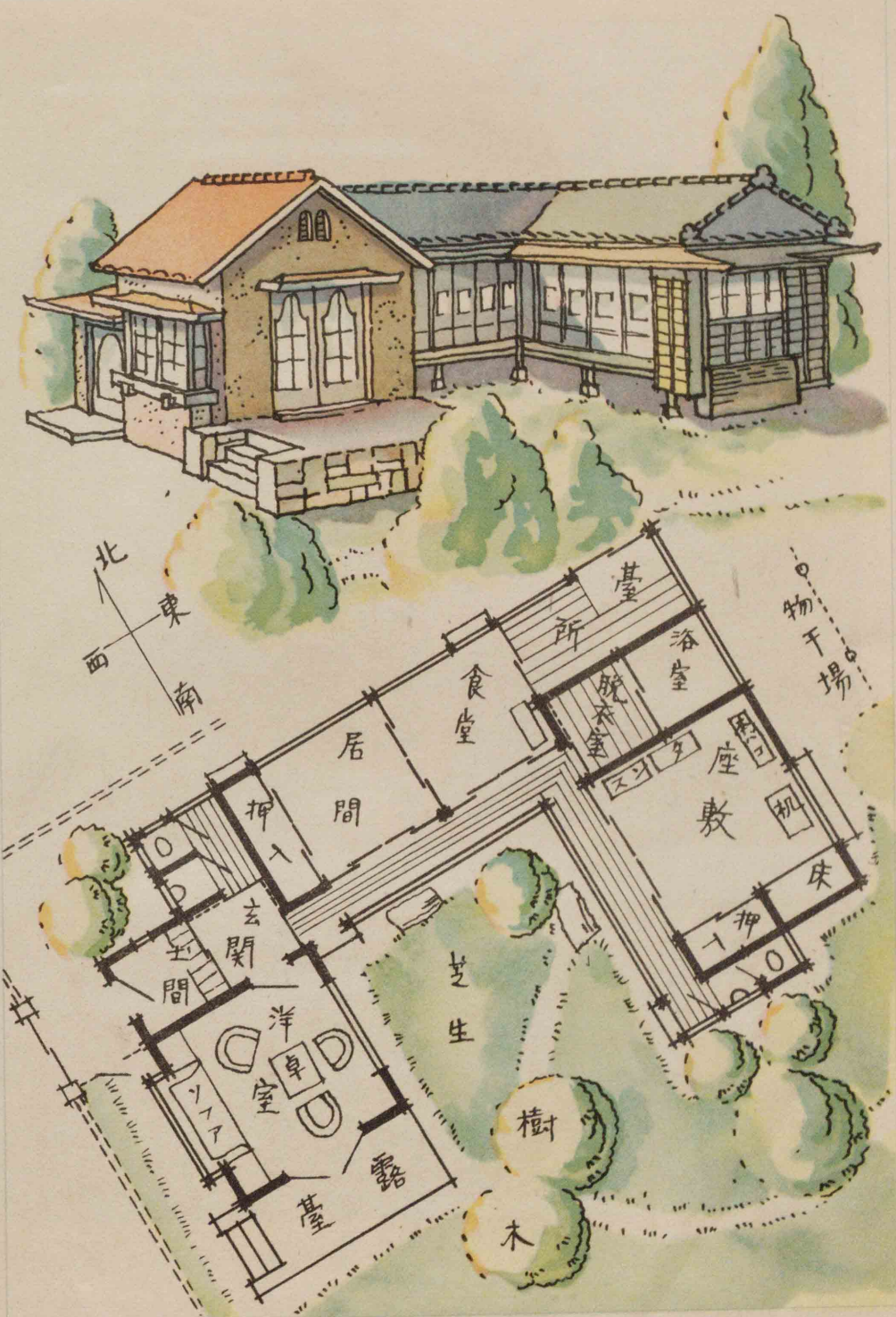
一、建物ニ取ツテ最も大切ナノハ基礎デアツテ、少クモ建物ノ外観リト重ナル間仕切下ニハ堅固ナ基礎ヲ施サネバナラズ。近頃ハ混成土ト官フ便利ナモノガ出来タノデ、ドナンニ大キキ又深イ基礎デモ容易ニ出来ル。昔ハ石デ間單ナ基礎ヲヤツタノデ堅テ柱ガ傾キ、建具ノ建テ合セガビツタリ行カナクナルノガ常デアツタ。

一、基礎ノ上ニハ木ノ土葺ヲ置ク。兩ニ瀧レ斷リ易イ處ダカラ、最も濕氣ニ強イ日本榿ヲ用フルノガ普通デアル。

一、土葺ヨリ上部ハ多ク杉、桐等ヲ用ヒ、上等ノ建物ニハ楠、櫻等ヲ用ビル。然シ近頃ハ亞米利加松、略シテ米松、同シク米杉、米桐、米樟等ヲ多用ヒ、又南洋産ノラワン、タンギル等ヲ用ビル。

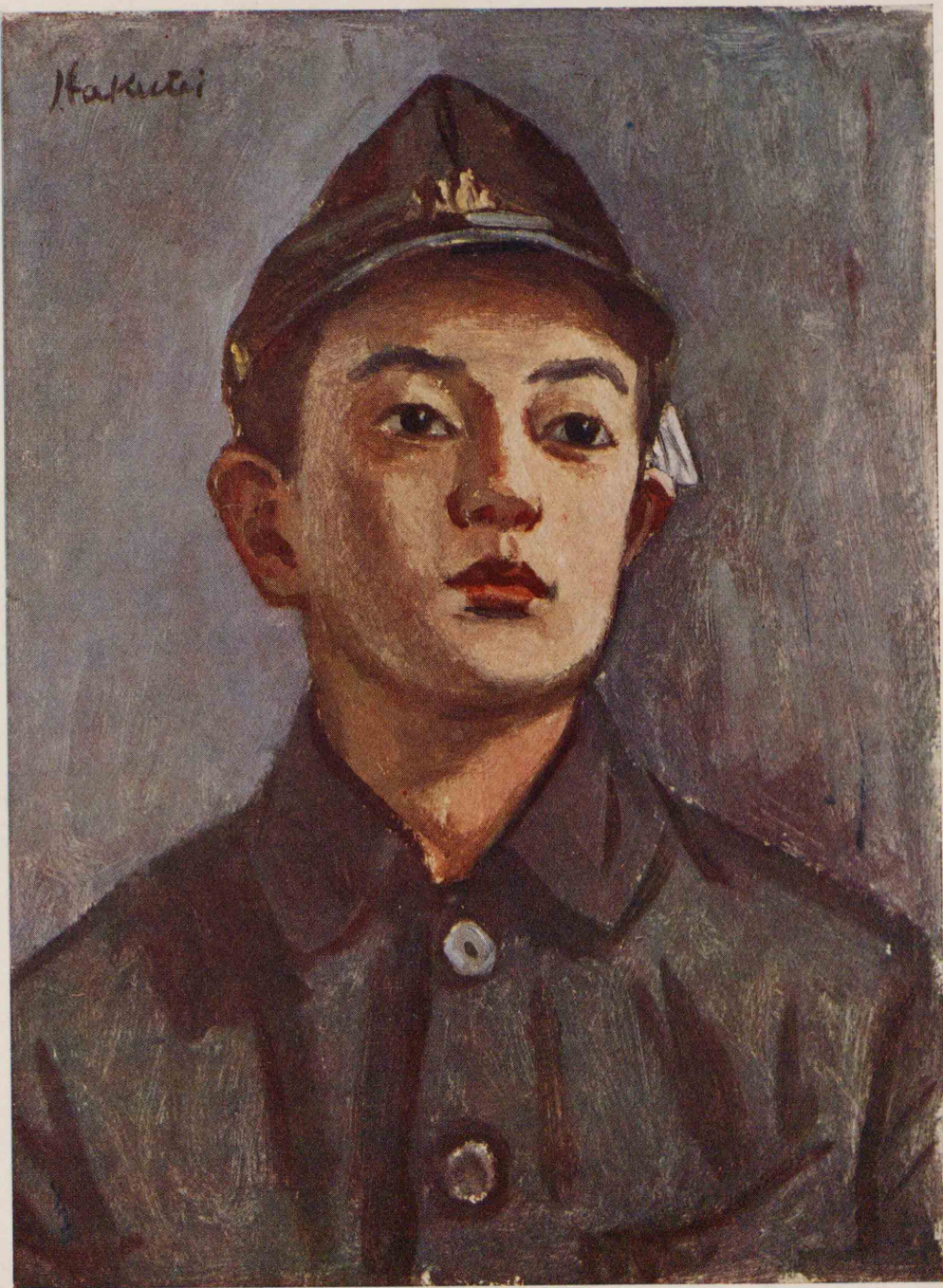
一、松材ハ樹齡ガ多イノデ小屋組(屋根材)ニ用ヒレバ耐久力ガ強イ。

一、米松、米杉、米桐等ヲ用ヒタ實用ノ住宅ナラバ一坪當リ平均百圓内外ヲ越出ス來ル。此ノ設計圖ノ住宅ハ、ソレ故約二千五百圓位ヲ越出ス來ルモノデアル。



〔新撰圖〕 2-17 住宅の設計

先生の作品



石井柏亭作

【新撰高】 2-18 小 學 生

小 學 生

石 井 柏 亭

少年の顔が濃い背景のうちに浮出してゐます。

右の上の方から光線をうけてつや／＼しく光る頬のあたりに、健康をほこる美しさがあります。

この繪はどうしてこのやうに活々として見えるでせう。そばで眺めた皆さんは、ずつと眼より離して更に顔から首、首から胸とよくごらん下さい。そして陰の半面に注意下さい。頬の光りは幾段にも塗りわけられてゐるのです。直接光りをうけた部分と次の暗い所と、更に反射されて来る光線に照されてやや明るくなつた部分と、……細かい色の取扱ひは、私共には及ぶことの出来ない妙趣をあらはして、豊かな圓みを表現し、又形以外の少年の氣分もうかゞはれるのであります。

石井先生は二科會の重鎮として名高い洋畫家であります。これは油繪であります。水彩にも傑作が多く、その透明な色調は見る人の心を淨めます。又先生は本も著はされ、其方面でも人々を導びいてをられます。



ルノアール作

少女

ルノアール

薄絹に包んだ紅寶石を見るやうな顔の光り、しかし包まれたものは石のやうに固くなく、中には活々とした血が通ひ、さはつた指をかくはね返す程の力を見せて、ふくよかに盛りあがつたその頬をござんなさい。

ルノアール先生の描かれた人物には何とも言ひえない一つの光があります。この繪はバステルですが、油繪にゑがかれたものでも同じこと、そのやはらかさと暖かさとのうちには、しつかりした力がひそんでゐて、見る人の心を強くひきつけます。

美しいといふ中には、冷たくはつきりとして人の目をひくものや、暖かくなつかしみ深くして人の心をひくものがあります。

この少女の繪に對して皆さんはどんな感じがしますか。

オーギュスト・ルノアール先生は、西曆千八百四十一年に生れて近頃まで數多くの名畫を發表された佛蘭西の大家で今から十年程前に亡くなられました。

## 風景

ブラマンク

この繪をちよつと見て、すぐに畫帖を閉ぢてごらん下さい。

外の繪をながく眺めた時よりもずつと強くはつきりとした影を頭に浮べるでせう。この繪はそのやうに變つた一つの力をもつてゐるのです。

私共の眼に映る景色は刻々と變ります。美しいと思ふ自然の姿はほんの一刻、その刹那の美しさを寫眞の乾板に映すやうに描き止めたなら、さてどのやうな繪となるでせう。

この風景畫こそ電のやうな美を描き止めたと見るべきでせう。ちつとみつめてみると、なぐりつけたやうに塗られた色は今にもにじみ出して風景に活氣をつけ、動きはじめるやうに感じられます。

モリス・ド・ブラマンク先生は、黒を主としたこのやうな風景畫に多くの傑作を發表されてゐます。先生は常にわだかまりのない心で自然を視て、強く感じたまゝを、その鋭い手法で一氣に描きあらはされる佛蘭西現代大家です。



風景 2—20 風 景

ブラマンク作

新 撰  
小 學 圖 畫

【不 許 複 製】

昭 和 三 年 十 二 月 二 十 九 日 印 刷  
昭 和 四 年 一 月 一 日 發 行

定 價	尋一・尋二	各金二十三錢
	尋三・尋四	
	尋五・尋六	各金二十八錢
	高一・高二	

著 者 者 初 等 圖 畫 研 究 會  
會 長 岡 田 三 郎 助  
發 行 兼 東 京 市 麴 町 區 大 手 町 一 丁 目 一 番 地  
印 刷 者 株 式 會 社 三 省 堂  
代 表 者 神 保 周 藏  
東 京 府 荏 原 郡 蒲 田 町  
印 刷 所 株 式 會 社 三 省 堂 印 刷 部

發 行 所

株 式 會 社 三 省 堂  
東 京 市 麴 町 區 大 手 町 一 丁 目 一 番 地  
振 替 東 京 三 一 五 五 五 番  
株 式 會 社 三 省 堂 大 阪 支 店  
大 阪 市 南 區 順 慶 町 通 一 丁 目 四 一 番 地  
振 替 大 阪 八 一 三 〇 〇 番



